

# 新学術領域「水惑星学の創成」公募班（後期）キックオフミーティング

2020.04.28 作成版

日時：2020年5月11日（月）9:30–12:00

参加方法：zoomによるオンライン開催（接続URLはメーリングリストにて周知）

発表者の方は、Q&Aも含めて10分以内での発表をお願いします。zoomにて発表者に画面共有をしていただきますので、スライド（パワポ、keynote、pdfなど）の準備をよろしくお願いいたします。当日の画面共有に不安のある方は、事前に玄田（[genda@elsi.jp](mailto:genda@elsi.jp)）まで発表ファイルを送っていただければ、こちらから画面共有させていただきます。

## ----- プログラム -----

関根 康人（領域代表）「挨拶、本領域が目指すところ」

### A01 班（水–岩石反応）公募研究 座長： 渋谷 岳造（班代表）

牧田 寛子（東京海洋大学）

「純鉄に駆動される生命圏の可能性」

末松 久幸（長岡技術科学大学）

「磁気圏衛星の非氷成分同定と線量測定のための氷中ナノ空孔からの光散乱測定」

Li Yamei（東京工業大学）

「Geo-electrochemical Conversion of Amino」

鈴木 志野（海洋研究開発機構）

「氷衛星類似環境に生きる微生物の生命代謝とその制約」

### A02 班（水–氷相互作用）公募研究 座長： 関根 康人（班代表）

鈴木 昭夫（東北大学）

「氷衛星内部海水の高圧下における粘度測定と内部海進化モデルの構築」

藪下 彰啓（九州大学）

「低エネルギー電子および紫外光によって誘起される氷での酸化反応の研究」

### A03 班（モデリング）公募研究 座長： 玄田 英典（班代表）

小河 正基（東京大学）

「火星の内部・表層環境共進化のモデリング」

小林 浩（名古屋大学）

「地球型惑星形成にともなう大気獲得とその組成進化についての理論的研究」

吉田 二美（千葉工業大学）

「太陽系考古学：氷天体のサーベイ観測から太陽系の歴史を探る」

### B01 班（分析）公募研究 座長： 福士 圭介（班代表）

藪田 ひかる（広島大学）

「地球外高分子有機物中の金属元素の探索とその化学形態に記録される母天体水質条件」

### B02 班（探査）公募研究 座長： 白井 寛裕（班代表）

中川 広務（東北大学）

「火星大気における水環境進理解のための観測的実証研究」

長 勇一郎（東京大学）

「水惑星表面の氷・含水鉱物・塩の計測を目指した小型レーザー発光分光装置の宇宙機開発」

横山 哲也（東京工業大学）

「小惑星リュウグウ帰還試料の微量元素濃度・同位体組成分析」

平田 直之（神戸大学）

「カッシーニ画像データ解析による土星中型氷衛星の熱進化史の解明」

牛久保 孝行（海洋研究開発機構）

「炭酸塩安定同位体から遠方形成小惑星の揮発性物質供給源を探る」